

SegniQ

<sup>※1</sup> 音声ガイド機能搭載

DIGITAL DOOR LOCK SYSTEM  
SQ-01



指紋認証



暗証番号



<sup>※2</sup> ICカード

ドアを選ばないデザイン

3WAY解錠

建物の防犯性能アップ

音声ガイド機能(日本語・英語)

※1 各種設定・登録・変更・削除の操作方法を音声でガイド  
※2 本体付属スマートカード、Felica (ISO18092)、Mifare (ISO1443A)、ICチップ搭載のスマートフォン等

# 設置マニュアル

〒983-0841

宮城県仙台市宮城野区原町4-2-17

杜建工業 株式会社 防犯事業部

TEL : 022-292-3033 FAX : 022-292-8826

# 1.製品の内容

まずは内容の確認をして下さい。



## 《内容説明》

- ① 室外側本体 (フロントボディ)
- ② 室内側本体 (バックボディ)
- ③ 取扱説明書 (使用者用)
- ④ 設置用型紙
- ⑤ 室内側本体補助台
- ⑥ スマートカード×2枚
- ⑦ スマートタグキー×2個
- ⑧ ストライク補助台×4枚
- ⑨ 各種ネジ
- ⑩ ストライク
- ⑪ 単三アルカリ乾電池×4本

## 2.本体の位置決め作業



### 《作業説明》

- ①設置用型紙を使用して、室外側本体を取付ける貫通穴の位置決めを行います。

※複数の部屋の玄関ドアに取付を行う場合は、スケールを使用し、貫通穴を開ける位置の縦・横寸法を統一すると全体像の仕上がりが綺麗に収まります。

### ※要注意事項※

設置用型紙は「外開きドア」専用の型紙となります。「内開きドア」の場合は、ドア枠・ドア本体を採寸し室内側本体とストライクが干渉しないよう注意して、取付を行ってください。

### 3.貫通穴を開ける作業



《作業説明》

①ホールソー等を使用し、直径32mmの貫通穴を開けます。

※要注意事項※

貫通穴を開ける前に、扉の外側・内側に「装飾物」  
「モール」等の障害物がないか確認してから作業を  
行ってください。

## 4. 室外側本体と室内側本体補助台を取付ける作業



### 《作業説明》

- ① ボルト2本を使用し、室外側本体と室内側本体補助台を軽く固定する。（少し動く程度）  
※使用するボルトは下記のいずれかに対応するものを使用してください。



- ② 上下の切り込み穴にボルトを取付け、中心の切り込み穴にケーブルを通します。



## 5-①.ストライクとの位置調整を行う作業



### 《作業説明》

- ①室内側本体と室内側本体補助台をボルトで仮固定します。  
※使用するボルトは下記を使用してください。



- ②ストライクをドア枠にあわせた後、非常用カムを施錠側へ回しデットボルトをデットボルトガイドに差し込みます。

### ※注意事項※

この段階ではケーブルの接続は行わないでください。

## 5-②.ストライクとの位置調整を行う作業



### 《作業説明》

- ①室内側本体をデットボルトガイド側へ押し込み、オートロックセンサーが限界まで押されている状態が適正な間隔です。

※デットボルトガイドを使用すると、簡単に最適なオートロックセンサーの間隔に調整することができます。

### ※要注意事項※

オートロックセンサーとストライクの間隔調整が不十分な場合、取付後に正常に作動しない、完全に閉まらない、警告アラームが鳴る等の不具合が発生する場合があります。

## 5-③.ストライクとの位置調整を行う作業



### 《作業説明》

- ①確定したストライクの位置に印を付けます。
- ②確定した室内側本体の位置がずれないように非常用サムターンを解錠側に回し、デットボルトをデットボルトガイドから抜きます。
- ③確定した室内側本体の位置がずれないように仮固定をはずします。

### ※要注意事項※

オートロックセンサーとストライクの間隔調整が不十分な場合、取付後に正常に作動しない、完全に閉まらない、警告アラームが鳴る等の不具合が発生する場合があります。



## 6.室内側本体を本固定する作業

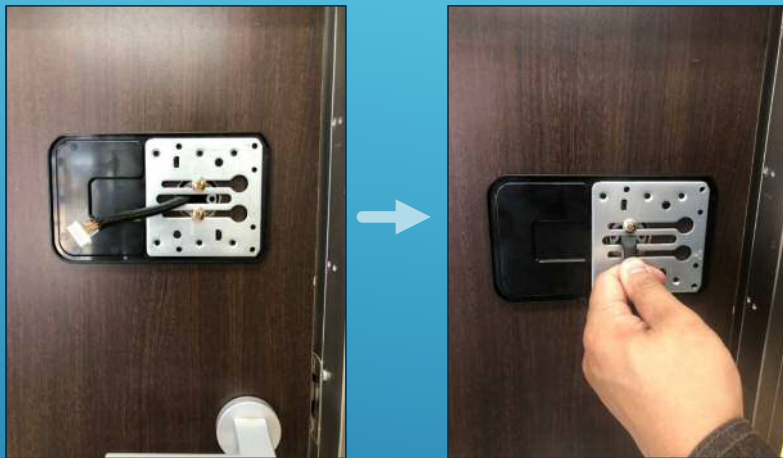


### 《作業説明》

- ①確定した室内側本体の位置がずれないように、室内側本体のボルト2本を本固定します。  
※片方のボルトを締めると、もう一方のボルトが緩むので両方交互にしっかりと固定してください。
- ②確定した室内側本体の位置がずれないように、室内側補助台をドアに本固定します。  
※使用するビスは下記を使用してください。



## 7. ケーブルの収納作業



### 《作業説明》

- ①ケーブルをドアの内側や室外側本体の隙間に折りたたんで収納します。
- ②ケーブルは外側に約3cm～4cmの長さが出ている状態まで収納します。



### ※注意事項※

ケーブルの収納作業を行わないと基盤に圧力がかかり、基盤の劣化、急速な電池消耗、オートロックセンサーの引っ掛かり等の悪影響を及ぼす可能性があります。

## 8. ケーブルを接続する作業



### 《作業説明》

- ①ケーブルを室内側本体のコネクターに接続します。  
※黒マジックを目印に正しく接続してください。  
※正常に接続された場合、「カチッ」と音が鳴ります。

### ※要注意事項※

ケーブルとコネクターをしっかりと接続できていない場合、  
操作不良、誤作動が発生する可能性があります。  
コネクターの針が損傷しないよう、注意して接続してください。

## 9.室内側本体を本固定する作業



### 《作業説明》

- ①室内側本体と室内側本体補助台を本固定します。  
※使用するボルトは下記を使用してください。



- ②ストライクを予め付けた印にあわせて本固定します。  
※使用するビスは下記を使用してください。





# 10.取付完了



## 《作業説明》

- ①乾電池を入れ、取扱説明書に従い各種登録を行ってください。

### ※注意事項※

- ①登録作業はドアを開けた状態で行ってください。登録せずにドアを閉めてしまった場合、オートロックセンサーが反応し自動的に施錠します。その際は、初期設定「※1234※」で解錠してください。
- ②新しいPass、card、指紋等で正しく解錠が出来ることを確認してからドアを閉めてください。正しく登録されてなくドアを閉めた場合、解錠できなくなる可能性があります。